

# オロチ

火と水への讃歌

～神楽とオーケストラのために～(2009;世界初演)

作曲・企画構成:伴谷晃二

(作曲家・エリザベト音楽大学音楽学部長)

指揮:秋山和慶

(広響音楽監督・常任指揮者)

管弦楽:広島交響楽団

演舞:北広島神楽団

(山王神楽団・中川戸神楽団・東山神楽団・八重西神楽団)



ひろしま夏の芸術祭メインコンサート

## 神楽とオーケストラのコラボレーション

～広島から創出する世界初の響演～

舞台監督:宮永智光 神楽演出:石井誠治

第一部 神楽公演「滝夜叉姫」山王神楽団 第二部 「オロチ～火と水への讃歌～」

平成21年8月31日(月) 17:40開場 18:20開演

ALSOKホール(県立文化芸術ホール)

入場料 2,500円(全席自由席)

チケット販売 テオテオ、ヤマハ、福屋広島駅前店、福屋八丁堀本店、アルパーク天満屋の各プレイガイド、ローソンチケット(Lコード 64874)

- 主催 ひろしま夏の芸術祭実行委員会(広島県、公益財団法人ひろしま文化振興財団・エリザベト音楽大学、広島県吹奏楽連盟、社団法人広島県観光連盟)、北広島市、中国新聞社
- 後援 朝日新聞広島総局、産経新聞中・四国総局、山陽新聞社、日本経済新聞社広島支局、毎日新聞広島支局、読売新聞大阪本社、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、FMちやーピー 76.6MHz、株式会社FM1はつかいち、エフエムふくやま、広島エフエム放送、東広島リビング新聞社、広島リビング新聞社、福山リビング新聞社、尾道ケーブルテレビ、KAMONケーブルテレビ、ふれあいチャンネル、三原テレビ放送、三次ケーブルビジョン
- 協賛 ウッドワン、オタフクソース、賀茂鶴酒造、コカ・コーラウエスト、瀬戸内海汽船、そごう、中国電力、電通西日本、天満屋、広島ガス、広島銀行、広島県医師会、広島県歯科医師会、広島県信用組合、広島県薬剤師会、広島信用金庫、広島総合警備保障、広島電鉄、福屋、平安堂梅坪、マツダ、三越、もみじ銀行、ヤマハミュージック中四国(50音順)
- 助成 財団法人 地域創造

問い合わせ先 ひろしま夏の芸術祭実行委員会事務局 〒730-8511広島市中区基町10-52  
広島県環境県民局文化芸術課 TEL082-513-2722 FAX082-222-7133  
ホームページ <http://www.hiroshima-artfest.jp>

ひろしま夏の芸術祭 検索

クリック



宝くじは  
豊かさ築く  
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に  
役立てられています。





## 作曲・企画構成

## Composer and Producer



ともに こうじ  
**伴谷晃二**  
TOMOTANI, Koji

作曲家・エリザベト音楽大学音楽学部長。広島交響楽協会副理事長。第2回国際作曲コンクール入選(1992)。文化庁芸術祭優秀賞受賞(1998)。ISCM-ACL(国際現代音楽祭-アジア作曲家連盟共催) <World Music Days 2007 Hong Kong> 入選。

<Music From Japan Festival 2007(アメリカ公演)> 入選。

作品はフランス、アメリカ、フィリピン、韓国、中国、台湾などで度々演奏され好評を博す。近年は、『交響詩、広島・太田川に寄せる三章』他、NHK交響楽団、東京交響楽団、広島交響楽団、東京フィルハーモニー、京都市交響楽団等によるオーケストラ作品の初演も多い。

## プログラムノート

火は中国山地のたたら鉄の、そして水は太田川の上流から下流にかけての田園や舟運の文化。人々は厳しい自然と対置しながらも、たたら鉄の発見から製鉄を興し、大洪水を諫めては五穀豊穡を祈る。<オロチ>は自然と人間の共生のために、自然への「畏敬の念」と自然への「讃歌」を豊かな感性で詠い舞い続ける。「鬼神」であり「母神」でもある<オロチ>の演舞とオーケストラのサウンドは、時には対立と協調を繰り返しながら、太古から脈々と人々に受け継がれた「聖なる調べ」と慈愛に満ちた「自然崇拜の心」とを抱き合わせ、響き合わせてくれる。この作品は、神話をもとにイメージ化され描きだされた創作である。

## 指揮

## Conductor



あきやま かずよし  
**秋山和慶**  
AKIYAMA, Kazuyoshi

故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、桐朋学園大学音楽学部を卒業。東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキウス交響楽団音楽監督(現在名誉指揮者)を歴任。

サンフランシスコ響、クリーヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、ロイヤル・フィル、ケルン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管など欧米の主要オーケストラに客演している。

これまでに第6回サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、第36回川崎市文化賞、広島市民賞をはじめ、数々の賞を受賞。2001年には紫綬褒章を受章した。

現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、九州交響楽団首席指揮者・ミュージック・アドバイザーを務めている。



**ALSOKホール**  
広島市中区白島北町19-1  
☎082-223-6367

### 交通のご案内

- バス  
【広島バスセンター11番のりば】  
①基町経由高島方面(5分)→「白島北町」下車  
【広島駅前バスのりば】  
②白島ホーム  
③8番基町経由高島方面(2.5分)→「白島北町」下車
  - アストラムライン  
○「白島」下車
- ※乗車用紙市場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

## 北広島神楽団

『新田園文化のまち』宣言・・・北広島町は古くから60団体の神楽団が活躍しています。北広島神楽は、華麗な舞いと演劇性の高い舞台演出で県内はもとより国内でも好評を博しています。伝統的な舞を基本として日々保存・伝承に努めながら、「広島神楽」として新しい舞にも挑戦を続けています。

広島交響楽団とは2003年、ロシア・サンクトペテルブルク市建都300年祭に日本文化交流公演で初めて出会いました。今回、広島交響楽団とのコラボレーション公演のため、ロシア公演の実績をもとに「北広島神楽団」を結成し、猛練習を行っています。北広島「伝統文化・神楽」とオーケストラの史上初めての本格的なコラボです。これを機会に、神楽に新しい風が吹き込まれ、未知なる発展を期待しています。

このような機会を与えていただいた広島県をはじめ、関係の皆様には深甚の感謝と敬意を申し上げます。

皆様も「広島から創出する世界初の響演」をお楽しみください。

## 山王神楽団

北広島町本地の山末神社氏神祭に神楽を奉納するため、明治中期に発足しました。当時は「下本地神楽団」と称していましたが、神社に奉られている「山王権現」から名を頂き「山王神楽団」として現在に至ります。伝承された舞に一人一人の思いを込め郷土芸能の発展に努めてまいりました。練習の都度、あるいは出演上演の都度、「演技の粋をかたむけて」を目標に、芸の習得に取り組み、文化の伝承、保存に努めてまいります。



photo by yuk☆kii



photo by yuk☆kii

## 広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

中・四国唯一の常設プロオーケストラ 広響は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。名誉創立指揮者・井上一清をはじめ、2008年5月からは首席客演指揮者にエヴァルド・ダネル、ヘンリック・シェーファーが就任し、より充実した指揮者陣となった。

日本各地はもとより、ウィーン、プラハ、フランス(ルーアン、ル・アーブル)、サンクトペテルブルク、韓国(テグ、ソウル、プサン)などで公演し好評を博す。2007年はプロ改組35周年を記念して自主制作盤レーベル「PEACE RECORD」をスタート。また記念誌「Listen Plus」を発売し、いずれも高い評価を得ている。

現在は年14回の定期演奏会(広島10回・呉・福山・廿日市・島根)や秋山和慶のディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート・巡回コンサートなど年間約130回に及ぶ演奏活動を行っている。2001年度から文化庁より我が国の芸術水準向上の牽引力となる芸術団体への特別支援事業の指定団体となっており、各方面から一層の活躍を期待されている。



### これは音声コードです

目の不自由な方の情報提供を目的に作られたものです。この音声コードを、活字読み上げ装置で読み取らせると、音声で読み上げます。

